

会員数 (57・2現在)
 逗子地区 148名
 葉山地区 260名
 大船地区 61名
 合計 469名

吟道月報

日本詩吟学院岳風会 認可
 神奈川 碩心会 発行

57・2月
 第115号
 発行 者 根岸 岳 萃
 編 集 中村 愛 岳
 中杉 山 雪 風

吟と中村先生と私

堀内支部D組 沼田真風

十年ひと昔といいますが、中村先生の門をたたいて早々今年でちようど十年になりました。十年前男性の同窓会の席で根岸先生の吟を聞かされ感動いたしました。私にも教えていただきました。私にも教えるところよろしいという事であったが、数日後先生よりの電話で日程がはっぱいなので中村先生ではどうかという事で、どなたでも結構ですという事で、関沢君と二人で四十七年二月四日に入門し今日は到りました。幸い中村先生も同窓生でしたので私にとって本当に好都合であったわけですが、

最初は稽古も弟子二人きりです。ので何度か手足をとる様に教

えていただきました。今と変わると私の様な音感の悪い者が曲りなりにも吟じられるようになった事に對し、感謝の念でいっぱいです。

其の後吟友がどんどん入ってきて現在では二十名を越す大世帯となり賑やかな教場になったのですが、それなりに先生の御苦労も大変だと思えます。

昨日建国記念日の日に中村教場の十周年記念のつどいが行われました。根岸先生はじめ、堀内支部の先生方をお招きして盛会に行われました。私まで一緒に祝福されたような気持ちで感謝でした。出来の悪い生徒ですが、今後共よろしく御指導の程お願いいたします。

◎ 春季審査会のお知らせ 許証部

と き 57年3月21日(日) (九時三十分受付開始)
ところ 森戸森林公会堂

国電逗子駅よりバス①番線海岸廻り葉山
行バス(約十三分) 森戸神社前下車、
鳥居をくぐってすぐ左側

(午前の部) 四会場にて十時同時開始

初段・二段・初伝・三段・四段

(午後の部) 非会場にて一時同時開始

中伝・五段・六段・奥伝・準師範

◇ 審査料 (五百円) は当日迄に支部毎にま

とめの許証部中村迄

◇ 許証料 (毎月号記載) は三月末日迄に右と同じ

(註) 今回審査の行われず森戸公会堂は焙
時会場ですので暖房設備等不充分と思われま
すのでも当日気温の低い場合は各自で充分
保温に気をつけて下さい。又はきものはビニ
ール袋を用意いたしますので各自でお持ち下
さい。特に火の用心にご留意願います。

◇ 岳風会 バッチをつけましょう

大会及び各種吟道行事に参加の時は必ずバ
ッチをつけましょう。お持ちでない方は只今
取りまとめ中です。各支部毎に一括して二月
末日迄に広瀬翔風先生に申込んで下さい。

一個……三〇〇円 総務部

趣味を持つしあわせ

堀内D組 千葉美山

一月月号報のッがんばらなくっちゃッには私
もひと言私わそんな思ひでまたたく間に日は
過ぎ、もう二月の梅の頃……趣味の詩吟・詩舞
も生活の一端である。おそい子持ちでまだま
だ子育て最中の私は大変で時には愚知甘出て
しまっ。そんな時は趣味のお稽古に熱中する。
ある時は歌舞伎役者になったつもりで、ある
時は主役になった気で稽古する。そして趣味
のあるという事は倅せだなあーと思う。忙レ
い忙レいと思いつつ……私わがんばらなくっちゃッ

碩心会 57年初吟会 会計報告

(57.1.10 於 京急ビ-チンター)

収 入 の 部			支 出 の 部		
摘 要	金 額	備 考	摘 要	金 額	備 考
会議費	694,400	2800×248	ビ-チンター-借上料	150,000	
祝 儀	25,000	新田先生	飲物持込料	34,400	
		石渡ク	従業員チップ	3,000	
		鹿島ク	弁 当	304,800	1200×25
		小林ク	つ ま み	76,200	300×254
奇附金	30,000	眞勝さん	み か ん	14,800	4 ケース
		指導者御一同 金指様	〔ビール 一紙酒 合ビ ジュス〕	37,100	7 1/2 3本 254本 254本
雑収入	950	空びん売却代	飲料	4,980	3本
現品寄附 笠原商店さんより清酒 3本 担当支部より景品			ビール袋	50,800	254本
			景品代	17,730	254本
			招待の先生車代	2,540	254枚
			担当支部へお茶代	7,200	
			看板その他揮毫料	12,000	4人分
			会 議 費	10,000	
			コ ピー 代	1,000	
			消耗品代	4,000	
			通 信 費	8,330	
			本部会計へ繰入	1,100	紙・花巻袋 その他
				1,500	
				8,870	
	750,350		計	750,350	

以上の通り報告致します

57.1.15

担当支部代表

企画部長 千葉香岳

長柄支部 根岸治風 ㊟

一色支部 加藤朋風 ㊟

梅は咲いたか

天保年間の江戸の歳時記では、ウグイスの初音(はつね)は立春の十五、六日ごろから、雑司が谷の梅の見ごろは立春後三十日ごろから……といったぐあいに立春からの日数で示されてゐる。八十八夜も二十十日も、立春が基点だ。これは旧暦時代の太陽歴的表現といえる。
(朝日新聞より転載)

(訂正)

夕入会 新倉アキをマキに訂正

(入)

(真澄支部) 嶋津幸子 逗子市逗子一三三十一

(逗子A支部) 小林はつ子 (電) 〇四六八―73―六一七二

〇四六八―71―三三〇九

(二色B支部) 小沢トク 横須賀市佐野町三三〇

(電) 〇四六八―53―一六四九五

(二色B支部) 堀江夕カ 横須賀市衣笠栄町三七四

(二色B支部) 萩原康大少 (電) 〇四六八―52―一〇一七四

葉山町上山口一三九四

(二色C支部) 新明ヨシ (電) 〇四六八―78―一七一

一色一〇〇一九

() 森 ミキ (電) 〇四六八―75―〇三九二

〇四六八―75―一七〇一六

(大船A支部) 阿部昌子 (六段、崩山) 大阪岳風会より移籍

(大船B支部) 森サタ子 横須賀市戸塚区岡津町八九七

(電) 〇四六八―118―二六三八

() 向笠真琴(再) (電) 〇四六八―804―一三三八

(退)

65 新倉久風 66 新倉優風 90 高梨薫風

69 武石公山 180 榎本優山 204 新倉清山

238 磯崎邦山 361 高橋妙山 (桜B) 品川行山

丸山ハツ 朝 江田スミエ 堀まさ子